

# 防災庁設置準備アドバイザー会議（第7回）

## 議事要旨

### 1. 検討会の概要

日 時：令和7年5月21日（水）10:00～13:00

場 所：中央合同庁舎第8号館3階 災害対策本部会議室  
（対面・オンラインのハイブリッド開催）

出席者：石井構成員、臼田構成員、江口構成員、大木構成員、片田構成員、加藤構成員、河田構成員、喜連川構成員、栗田構成員、阪本構成員、菅野構成員、鈴木構成員、高橋構成員、榛沢構成員、坂構成員、廣井構成員、福和構成員、明城構成員、山本構成員、矢守構成員（20名）

### 2. 議事概要

事務局から、議事「とりまとめ（案）」について、資料に基づいて説明を行い、構成員の間で議論を行った。

- 「中長期的に展望する」という単語が本文に多く含まれるが、「はじめに」には含まれないため、防災庁は中長期に展望するというフレーズをどこかに入れると良い。「はじめに」P2の「防災庁は、中長期的に展望し、全体を俯瞰し～」など。
- はじめにとおわりには、文章として難しい。子供にもわかる、分かりやすい一文を入れてはどうか。「おわりに」の末尾に、「国民が一丸となれば犠牲者が減る」ということをいれてはどうか。
- 現状の内閣府防災では個別災害を中長期的に検証する枠組みがないということが問題。短期検証だけでは復興過程までの課題を把握できないため、個別災害の中長期的な検証をどこかに入れられないか。
- 「防災庁の必要性」で内閣府防災の限界が記述されている。ニーズに対してリソースが足りていないということを明記すべきではないか。
- 地方自治体の対応力強化について、基礎自治体が対応仕切れない場合は、本来は都道府県が応援するはずなのだが実態としてなかなか実施されていない。もう少し分かりやすく書いた方が良い。
- 勧告権だけでなく「指示・勧告」が必要。
- 防災庁が防災関連の予算を纏めるなど、予算について明記すべきではないか。
- 各省庁の既存予算への影響も考慮され、簡単ではないことは理解するが、他方で、この機会に極力書いておくことも必要。
- 防災庁で国土強靱化のように、災害対策関連予算のモニタリングをして、防災庁が評価したものが各省庁の関連予算に反映されるような仕組みをつくるべき。
- 司令塔機能について、この種の危機管理部局は各国とも、大統領や首相の代理人として権限を行使するのが通例。防災庁はそうした体制を目指すべき。